

子ども議会開催



子ども議会を体験した16人の小学生と主催・共催者の皆さん

8月1日、市役所岩瀬庁舎の市議会議場を会場に、市内10の小学校・義務教育学校6年生16人が参加した「桜川市子ども議会」が開催されました。

これは、子どもたちが議会を体験することで、市政の仕組みや議会活動を学び、社会の一員としての意識を深めてもらおうと、市・市教育委員会・市議会、岩瀬・常陸大和・真壁ライオンズクラブの共催で行われたものです。

当日、子どもたちは、議長1人と議員15人に分かれ、市議会と同じように議会を進め、市長はじめ市執行部に質問や提言などを述べました。その質疑応答の内容をご紹介します（順不同）。なお、紙面の都合上、内容を一部省略しています。

会議の議長をつとめます、
猿田小学校
佐谷 美月です。
よろしくお願ひします。



私たちが議員のみなさんの
質問に答えました。



柴 総合戦略部長



阿久津 総務部長



小川 市長公室長



梅井 教育長



猪瀬 副市長



大塚 市長



佐藤 教育部長



白田 会計管理者



内山 上下水道部長



尾見 建設部長




齋藤 経済部長



上野 保健福祉部長



小松崎 市民生活部長




羽黒小 光榮 将吾 議員

歩行者の安全を第一に考えた「モデル横断歩道」を増やせば、みんなが思いやりをもち、交通事故も減ると思います。桜川市では県西病院前にありますが、その他の地区にもそのような計画がありますか。

小松崎 市民生活部長

「モデル横断歩道」の指定は、今年の3月31日をもって終了しました。市としましては、警察署、交通団体と協力して皆さんが安心・安全に道路を渡れるように、また交通事故防止のため引き続き「ひとにやさしいばらき」の周知に努めていきたいと考えています。




羽黒小 廣澤 翼 議員

僕は、これまで年間読書量50冊を達成してきました。学校の図書室にも新しい本が毎年入りますが、いろいろな本を読みたいと思っています。移動図書館や市の本を学校に貸し出してもらうことはできますか。

梅井 教育長

移動図書館の計画はないですが、今ある3つの図書室の本について、より一層の充実を図ります。また、市の各図書室の本は、授業などで使用する場合は学校に貸し出します。個人で読みたい場合は、市の図書室に問い合わせると、市内外の図書館の本が借りられる制度もあります。




猿田小 渡邊 花菜々 議員

私たちの住んでいる今泉地区には、公園があり、生活科の探検で利用します。そのときには、区長さんや地域の方々、草刈などを行って来ています。公園の整備についての計画は、どのようになっていますか。

内山 上下水道部長

市では公園整備を行い、区長さんをはじめ地区の皆さんにご協力をいただいて、除草作業を中心に公園管理などを行っていただいています。公園整備などは、地域住民の皆さんと話しあいながら検討をしていきたいと思っています。




榊小 田村 美羽 議員

私の住んでいる地区の通学路は、交通量も多く大変危険です。横断歩道や押しボタンの信号機があると、1年生でも安全に渡れると感じています。道路の安全点検などは、どのような計画で進められているのか、教えてください。

白田 会計管理者

信号機や横断歩道などの新たな設置要望があった場合には、桜川警察署交通課に伝え、現場の確認を行っていただいています。また、市では「桜川市通学路安全推進会議」を設置して、市内小中学校の通学路の安全確保に向けた取り組みを実施しています。




岩瀬小 上野 倫太郎 議員

僕たちの学校では、昨年インターネット回線を通じて、フィリピンのバヤナン小学校とテレビ電話で通信をしています。今後、さらに交流を深めるような予定はあるのでしょうか。

佐藤 教育部長

今年度も、岩瀬小学校とバヤナン小学校の交流を継続して行っています。また、教育委員会では桃山学園とフィリピンのマンボック小学校を新たに結ぶ計画をしています。上野議員と同じ体験を、他の学校の児童も体験できるように現在準備を進めています。




岩瀬小 青柳 創大 議員

犬田地区の北関東自動車道付近の高架下トンネルの壁面には、昨年、岩瀬小学校で桜の花を描かせていただきました。今後、トンネルの有効利用の考えはありますか。

尾見 建設部長

トンネルの内部施設は、茨城県が管理しています。トンネルを有効に利用していただけるよう働きかけるとともに、行政の立場から道路里親制度やボランティア活動補助金制度の見直しを行っていききたいと思っています。




坂戸小 田中 ニコ 議員

桜川市には様々な地区がありますが、ヤマザクラは磯部などの活性化している地区に限られていると思います。どうすれば、地域全体が活性化するとお考えですか。

柴 総合戦略部長

市では里山を綺麗にして、ヤマザクラを植えようとする地区を応援する「桜の里づくり」という事業に取り組んでいます。市内をたくさんのヤマザクラで埋め尽くして、桜川市固有の資源であるヤマザクラを活かしたまちづくりを進めることで、市の活性化に繋げていきたいと考えています。




大宮小 間々田 涼太 議員

桜川市の知名度がアップすれば桜川市の名所など、桜川市に来てくれる人が増えると思います。知名度アップのために桜川市では、どのような取り組みをしているのか教えてください。

大塚 市長

現在「桜の里づくり」事業を進めており「ヤマザクラと言えば桜川市」と連想されるまちづくりを目指して取り組んでいます。他にも様々な桜川市の魅力があり、その魅力を発信するために、皆さんからもたくさんのご意見をいただきたいと思っています。




南飯田小 大和田 龍 議員

桜川市内には、各地区に古くからの神社仏閣が多くあり、歴史を感じる施設が多くあると聞きました。市外からもたくさんの人に来てもらい、桜川市の良さを感じてもらうために、何か計画はあるのでしょうか。

斎藤 経済部長

市内には、雨引山楽法寺（雨引観音）や櫻川磯部稲村神社などの歴史あるお寺や神社があります。桜川市の良さを感じてもらうために、観光資源の再発見とPR強化、観光資源の充実と商品開発、観光まちづくりの実践、ヤマザクラを生かした観光振興に取り組んでいます。




岩瀬小 羽石 瑤 議員

私たちは、茨城国体PRの一環で、都道府県を応援するのぼり旗を制作しました。桜川市での、茨城国体を盛り上げる取り組みについて教えてください。また、私たちにできることはありますか。

小川 市長公室長

ポスターやのぼり旗の掲示、国体のマスコットキャラクター「いばラッキー」のイベント参加、桜川市オリジナルの国体のポロシャツ作成、花いっぱい運動などの取り組みを行っています。小学生のみなさんには、きれいな街でお迎えできるよう、清掃活動のご協力をお願いします。

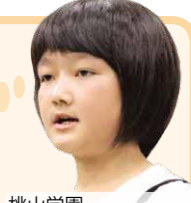


桃山学園 栗山 涼奈 議員

旧真壁小学校の跡地はどのように利用される予定でしょうか。みんなが自由に使える場所や公園が作られると、住民も観光客も喜ぶのではないのでしょうか。

猪瀬 副市長

敷地内の校舎やプールは、今年度取り壊しを予定しています。体育館は、地域の緊急避難所としてこのまま使用していく予定です。跡地については、栗山議員のご意見のような利用方法も視野に入れて、市民の皆様の意見を十分に聞きながら、あまりお金を掛けずに有効活用していく方法を考えていきたいと思っています。



桃山学園 山田 香織 議員


桃山学園になり、通学路が変わりました。特に伊佐々地区周辺は通学路が狭くて危険を感じたり、外灯が少なくてこわかったりしています。安全に登下校できるように対策をしていただけないでしょうか。

佐藤 教育部長

児童生徒の皆さんが登下校に使う通学路について、道路や防犯灯の担当課、警察署や学校などと会議を通じて、皆さんが安全に通学できるように、通学道路の環境改善を進めています。伊佐々地区は、地区からの要望を受けて、防犯灯の設置を予定しています。



真剣な眼差しで答弁を聞く議員の皆さん




谷貝小 脇田 美海 議員

今後、桜川市でも商業施設や医療機関などがオープンする予定と伺っております。そのような中で、それらの施設をめぐる巡回バスが運行されるのか教えてください。

大塚 市長

さくらがわ地域医療センターが開院する10月1日からは、この医療機関や岩瀬市街のスーパー近くをめぐる運行ルートを新設します。また、商業施設が完成してオープンした際には、ヤマザクラGOのバス停を設置する予定になっています。




雨引小 横田 夏希 議員

桜川市では、投票区や投票所を再編し、平成28年以降20か所に減りました。そのため、お年寄りにとっては距離が遠くなり大変だと聞きましたが、桜川市としてはどのようにお考えでしょうか。

阿久津 総務部長

各投票所の有権者数やポスター掲示場の不均衡や、駐車場不足や段差解消ができない投票所が多かったことから、再編しました。横田議員がおっしゃるような、確にお年寄りにとって距離が遠くなり大変ですが、段差をなくし、お年寄りに優しいバリアフリーの投票所をしています。



桃山学園 山中 一路 議員

全国的に子どもの数が減っています。桜川市でも年々子どもの数が減っていて、さらに人口も減っていると聞きます。将来的に桜川市の子どもの人口が減らないように、桜川市ではどのような対策をしていますか。

上野 保健福祉部長

人口が減らないようにするためには、定住促進、就労支援、子どもを育てやすい環境を整えることが大切なことと考えています。桜川市では、企業誘致による雇用の場の確保や、医療費の助成、ランドセルの配布、児童手当の支給、保育料の減額などを行っています。